

令和4年度東備西播定住自立圏構想推進事業「民間イベント等事業推進支援申請一覧」

受付 番号	活動事業名	事業概要
	団体名	
1	千種川リバーアスロン2022	我々の住む地域が自然豊かで素晴らしい地域であることを全国的にアピールし、多くの方々が千種川流域に訪れることを企図するとともに、地域の皆さんとの連携をさらに深めることを目的として「千種川リバーアスロン」を実施します。
	上郡校区まちづくり推進委員会	
2	第9回AKBバスケットボール大会	2市1町のバスケットボール協会と協力して、ミニバスケットボールの普及をさらに推進し、住民相互の交流と競技力の向上を図ります。 またミニバスケットだけでなく、一般の大会もを行い、2市1町のみならず近隣地区の多くのバスケットボールチームと交流を図ります。
	赤穂市バスケットボール協会	
3	AKBフリーマーケット「蔵市」	赤穂市や備前市のアーティストと連携し、継続的に「フリーマーケット」を実施することでにぎわいを創出しながらもアーティスト間のコミュニケーションを高め、東備・西播地域のつながりを維持します。
	NPO法人上郡ひがし蔵net	
4	赤穂市・上郡町・備前市3地区交流グラウンド・ゴルフ交歓大会	2市1町ともグラウンド・ゴルフ人口が多く、それぞれの地域で盛んにグラウンド・ゴルフが行われており、健康増進やコミュニケーションの向上に繋がっています。 グラウンド・ゴルフの技術向上や交流を図ることにより、仲間づくりに資するとともに高齢者が生きがいを感じることができると期待しています。
	備前市グラウンド・ゴルフ協会 吉永会	
5	ミュージックセラピーコンサート	音楽療法の普及と発展を目指して、音楽を通して少しでも多くの方々に音楽の力を体験してもらい、健康の保持・増進を図ります。 また、音楽を楽しみながら、誤嚥予防、脳トレーニング、認知症予防等の介護予防に繋がります。
	音楽療法研究会“ほっとたいむ”	
6	第30回赤穂市近隣中学校軟式野球大会兼2市1町東備西播定住自立圏推進交流野球大会	2市1町及び西播磨3市2町の合計5市3町16の中学校による野球大会を開催し、スポーツを通じた人の交流を図ることで、青少年の健全育成と技術の向上を目指します。
	赤穂軟式野球協会	
7	AKB縁結び婚活事業	赤穂市・上郡町・備前市の良さを知ってもらい、地元で結婚式を挙げることに、地域の賑わいを産み出し、町の活性化に繋がります。
	AKBフォトウェディングプロジェクト実行委員会	
8	赤穂市・備前市・上郡町定住自立圏推進交流ターゲットバードゴルフ大会	ニュースポーツとして、ターゲットバードゴルフを普及させることを目指して、2市1町の友好親善と交流を図るとともに、生涯スポーツとしてターゲットバードゴルフを発展させ、健康づくりに貢献します。
	赤穂市ターゲットバードゴルフ協会	
9	秦氏魅力向上フェスティバル	圏域内に知られている歴史文化遺産はもとより、埋もれた歴史文化遺産も掘り起こし、それらの資料の情報収集、さらには情報発信に努めます。
	地域歴史文化遺産魅力向上実行委員会	

団体名	上郡校区まちづくり推進委員会	活動名	千種川リバーアスロン 2022
-----	----------------	-----	-----------------

## 1 事業の実施内容

① 実施場所（地域） 千種川流域（佐用町上月地区、上郡町、赤穂市有年地区）備前市八塔寺川ダム周辺	② 実施期間 自令和4年5月29日 至5月29日 自令和4年10月30日 至10月30日
③ 実施体制 ・団体構成員 10名 ・一般参加者 202名 / ・ボランティア 79名 ・ 名 ・ 名 計 291名	
④ 事業実績（実行委員会や準備作業の事業実施等の主な実施日、内容をご記入ください。）  上郡町を貫流する清流千種川を含む自然豊かな地域を堪能するイベント「千種川リバーアスロン」今年度で5回目を迎える。 今年度は実施日を5月と10月に分けて開催した。 5月29日（日）ツードムライド（サイクリングベテランコース） 10月30日（日）西播磨古代への旅（サイクリング初級コース） 駒山城を攻める（登山初級コース） 千種川を堪能する（ウォーキングコース） 新型コロナウイルス感染症の影響下、参加人数が不透明であったが、集合場所等でマスクの着用、体温検査実施、手洗い励行等を実施して開催した。 天候にも恵まれ、それぞれのコースの特徴を生かした準備を進めた結果、参加者の皆さんに楽しんで頂けたイベントになったと自負しています。  参加者実績 ツードムライド（サイクリングベテランコース） 5/29 60km 106名（町外95名） 西播磨古代への旅（サイクリング初級コース） 10/30 20km 37名（町外29名） 駒山城を攻める（登山初級コース） 10/30 7km 34名（町外24名） 千種川を堪能する（ウォーキングコース） 10/30 6km 25名（町外11名） 参加者総数 202名（町外159名 79%） 協力スタッフ、ボランティア 56名（5/29） 33名（10/30）  事業経過については 別紙	

## 2 事業実施の成果と今後の課題

(※アンケート用紙の添付とアンケート実施結果も記入してください。)

### ①事業実施の成果

○継続は力なり。回を重ねるに従い、西播磨地域の多くの方々に認知されるイベントに成長したと思われる

○広域での連携体制が機能した。

・5/29 開催のツーダムライドでは備前市の地域づくりの皆さん、佐用町役場、佐用町元気工房さようの皆さん等の協力を頂き

・10/30 開催のサイクリング初級コースではうね地区まちおこし隊の皆さん等の協力を頂き

広域でのイベント（特にサイクリングコース）が実現出来た。

○コースガイドの充実

・10月30日のイベントでは、上郡町観光ガイドの皆さんと協力して各立寄りポイントのガイド資料を作成し、参加者の皆さんに配布し喜んで頂いた

・ウォーキングコースでは、上郡町郷土資料館で開催中の大鳥圭介特別展に立ち寄り、島田学芸員より郷土の偉人大鳥圭介のレクチャーを受ける機会を設け充実した内容になったと思われる

○地元産品のアピール

参加者の皆さんには、各コースの休憩所で心の籠ったメニューを味わって頂いた

・5/29 湯の家弁当（備前市湯の家）、豆っこ大福、わらび餅、手づくりジュース（佐用町元気工房さよう）、モロヘイヤうどん（上郡町平田製麺所）

・10/30 コネルのパン（上郡町ペーカ-コネル）、モロヘイヤうどん（上郡町平田製麺所）  
古代米弁当（うね地区まちおこし隊+Hana テラス）、  
スウィーツ（上郡町ひがし蔵）、おにぎり（コープこうべ上郡店）

・10/30 最終地点の上郡町役場前では、鞍居ふるさと村づくり協議会の皆さんがモロヘイヤ商品、鞍居桃ジャム等地元産品の販売をして頂いた

○こころの籠ったおもてなし効果

スタッフの人数に限られる中で、スタッフ、ボランティアの皆さんの心を込めた対応は、参加者の皆さんのハートに十分に届いたことと思われる

○アンケート結果

自然豊かな環境を大いに満喫して頂いたと思われる

また、秋のイベントのコースガイドも好評であった

改善点としては

5/29 給水ポイントが少なかった

コースガイドの事前配布があれば尚良かったと思われる

国道373号横断の際の進路誘導

10/30 登山コース トイレの確保が十分でなかった

今後にかかしたいと思っている

② 今後の課題

過去5年間継続して開催してきたことにより地域に認知されたイベントになったと思われる

5/29のツーダムライド（サイクリングベテランコース）県境をまたいでのコースであったが備前市のスタッフの協力もあり、大成功であった

10/30の西播磨古代への旅（サイクリング初級コース）については、赤穂西有年のエリアを走行赤穂市のスタッフの協力により、こちらも好評であった

今回実現した広域連携の体制をさらに進化させたいと思っている

人材の確保と育成、推進体制の強化に努め、ボランティア活動から観光ビジネスとして事業化できる体制に移行することを検討したい

(添付書類)

イベント等事業収支決算書

収 入		支 出	
(内容)	(金額)	(内容)	(金額)
東備西播定住自立圏 イベント事業補助	100000	*印刷費 1 案内チラシ ツラギムライト 9000 部	249700
上郡町地域おこし イベント事業補助	200000	リバーアスロン秋 8000 部	
地域づくり活動応援 事業補助 (県民局)	238000	*印刷費 2	55000
参加費	404000	ポスター 300 部	
5/29 212000		*印刷費 3	34997
10/30 192000		コースカイト 200 部	
自己資金	158	ムクダ解説書 100 部	
		*材料費	1070
		サイクルスタンド 重し	
		*消耗品費	5603
		指示棒、荷造り紐等	
		*事務用品費	26787
		プリンターインク、封筒他	
		*HP 作成費	30000
		*委託費	60000
		受付代行、写真販売	
		*通信費	16785
		案内、チラシ発送	
		*傷害保険料	27147
		サイクルリング 傷害保険	
		ウォーキング 登山傷害保険	
		*使用料	15000
		軽トラ借用、会議室使用	
		*謝金	14000
		司会 5/29、10/30	
		体操指導 5/29、10/30	
		*修理費 レンタル自転車	14740
		*印紙代	6330
		小計	557159
		飲食費	384999
		お茶、弁当、スイーツ	
合 計	942158	合 計	942158

1. 領収書等の写し、又は収入及び支出を明確に確認できる書類を添付してください。
2. 支援対象経費には\*を記載のこと

団体名	赤穂市バスケットボール協会	活動名	第9回 AKB カップミニバスケットボール大会
-----	---------------	-----	-------------------------

## 1 事業の実施内容

① 実施場所(地域) 赤穂市民総合体育館	② 実施期間 自 令和5年2月5日 至 令和5年2月5日
③ 実施体制 ・団体構成員 13名 ・一般参加者(スタッフ・審判) 34名 ・ボランティア0名 ・選手 161名 計 208名	
④ 事業実績(実行委員会や準備作業の事業実施等の主な実施日、内容をご記入ください。) 令和4年 12月: 審判員の確保(12名) 令和5年 2/4(土曜): 主催者の責任抽選にて組み合わせ決定、コート作成 2/5(日曜): 大会実施 参加チーム: U12男子(広畑A・B, 新宮, 備前, 小宅, 赤穂) : U12女子(広畑, 赤穂, 小宅, 新宮) : U10 赤穂、広畑A,B 小宅A,B 大会成績 U12男子の部: 1位 小宅 2位 広畑A 3位 赤穂 U12女子の部: 1位 広畑 2位 小宅 3位 新宮 U10の部: 赤穂、広畑A,B 小宅A,B	

(※アンケート用紙の添付とアンケート実施結果も記入してください。)

① 事業実施の成果

3年ぶりの通常開催で、3カテゴリー(U12男子、U12女子、U10)を実施した。

出場選手161名、チーム関係者34名、観戦者約250名と2階観客席の約半分がうまり、小学生のみの大会としては過去最高の動員が図れた。事業支援については本大会を含めてあと2回となったが、引き続き事業の継続を予定している。尚、上郡町内チームを募集したが不参加との回答があった。

アンケート結果：

アンケートは各チームの引率者、コーチ、保護者合わせて58名に配布

性別：男性28名、女性30名

年齢：平均43歳

職業：自営業8 会社員29 学生0 主婦21 その他(0)

① 第9回AKBカップバスケットボール大会はどのような方法で知りましたか？

例年参加、赤穂協会より、所属クラブより、実子が参加等

② 東備西播定住自立圏について知っていることがありましたら、お聞かせください。

あまりよく知らない20名、例年参加で名前のみ知っている20名、知らない18名

③ 当大会への参加は何回目ですか？

殆どが2回以上、無回答もある

④ 当大会の満足度について

殆どが大変良い、もしくは良い

他の要望として、大会継続の要望が多くありました。

① 今後の課題

1. 以前に実施した中高生部門の復活開催をとの依頼があり日程調整、開催場所と審判の確保他課題は多くありますが、協会として大会の開催に向け努力します。
2. 少子化で参加チームの減少が懸念されます。募集地域の広域化を検討中です。
3. 来年度開催で支援金がなくなります。財源の確保が課題となります。

(添付書類)

イベント等事業収支決算書

収 入		支 出	
(内容)	(金額)	(内容)	(金額)
参加料@500×15 チーム	7,500	体育館使用料①	*19,100
		ラインテープ②	*10,000
支援金	91,000	審判昼食代③(構成員外)	*7,870
協会補填	20,265	賞品 (トロフィー) ④	*12,870
		賞品 (ボール) ⑤	*6,292
		参加賞 ⑥,⑦,⑧	*8,041
		表彰状⑨	*715
		茶菓子・飲料⑩,⑪	4,134
		スコアシート・アンケート等コピー代⑫,⑬	*550
		文具・消耗品⑭	*1,193
		審判料⑮(構成員外)	*48,000
合 計	118,765	合 計	118,765

1. 領収書等の写し、又は収入及び支出を明確に確認できる書類を添付してください。
2. 支援対象経費には\*を記載のこと

団体名	NPO法人上郡ひがし蔵 net	活動名	AKBフリーマーケット「蔵市」
-----	-----------------	-----	-----------------

## 1 事業の実施内容

① 実施場所（地域） 赤穂郡上郡町 ひがし蔵	② 実施期間 自 令和 4年 5月15日 至 令和 4年11月27日
③ 実施体制 ※5月、11月2回実施分の総数 ・団体構成員 42名 ・一般参加者 35名 ・ボランティア 6名 ・ 名 ・ 名 計 83名	
④ 事業実績（実行委員会や準備作業の事業実施等の主な実施日、内容をご記入ください。） ◆5月15日（日）実施分 ・第1回 実行委員会 令和4年2月27日（日） *計画【 日程の決定、アーティスト募集要項決定（募集開始） 】 ・第2回 実行委員会 令和4年3月27日（日） *進捗状況確認 ※赤穂市、備前市、上郡町より19店舗参加 ※演奏者4チーム決定。 ・第3回 実行委員会 令和4年4月24日（日） ※5月実施の内容最終確認 ※以降、周辺自治会長様への開催に関する周知文章配布。 ・準備 令和4年5月14日（土） ※前日開催準備 ・開催 令和4年5月15日（日） ※10時～15時 ・撤収 令和4年5月15日（日）  ◆11月27日（実施分） ・第4回 実行委員会 令和4年7月31日（日）※5月反省、11月の計画 ※当初予定していた11月13日（日）より日程変更 ※5月来客数、概ね700名（各店舗の売り上げ等参考） *出店者、出演アーティスト募集要項の決定と募集開始。 ・第5回 実行委員会 令和4年9月25日（日） *進捗状況確認 ※赤穂市、備前市、上郡町より18店舗参加 ※演奏者7チーム決定。 ・第6回 実行委員会 令和4年10月30日（日）※11月実施の最終確認 ※以降、周辺自治会長様への開催に関する周知文章配布。 ・準備 令和4年11月26日（土）※前日開催準備 ・開催 令和4年11月27日（日）※10時～15時 ・撤収 令和4年11月27日（日） ・第7回 実行委員会 令和4年12月18日 ※11月反省、令和4年度総括 ※11月来客数、概ね750名（各店舗からの売上等参考）。  ○開催2回とも、臨時駐車場（上郡町役場第三庁舎）よりご来場のお客様の安全を図るため、警備保障を両日2名手配。（神姫警備保障(株)姫路本社）	

## 2 事業実施の成果と今後の課題

(※アンケート用紙の添付とアンケート実施結果も記入してください。)

### ① 事業実施の成果

当初見込んだ、東備西播地域で活動される様々な出店者の参加を得る事が出来、出店者同士の交流と連携を図ることが出来ました。コロナ過ではありましたが、来場数も2回でおよそ1,500名近いお客様にご来場を頂き、上郡町旧市街地での賑いの創出を生み出す事が出来たと思います。

幸い開催両日ともに天候に恵まれ、不安に思っていた雨天時での開催は何とか避ける事が出来ました。参加者、出店者のアンケートでも良い天気の中、コンサートにお買い物に満足した1日を過ごす事が出来たという内容があり、やはりこういった野外でのイベントは印象も成果も天候により左右されると言う事をあらためて感じたイベントとなりました。

イベントの目的としていた「東備西播地区」の出店者、出演者の交流とご来場のお客様へのおもてなしは十分な成果を上げる事が出来たと感じています。しかし、1回目開催の際、屋内（コンサート）と屋外（フリーマーケット）の連携が取れていないのでは？と言った反省点から、2回目にはインターネットラジオ「相生らじお」の皆さんにご協力を頂き、野外公開放送形式で演出を行って頂き、コンサートを終えられた出演者にインタビューを行って頂くなど、屋外にいらっしゃる出店者皆様やお買い物途中のお客様にアピールする事が出来ました。

両日、事前準備としてひがし蔵周辺自治会の各自治会長様へのご案内などを行い、居住地域でのイベント開催へのご理解とご協力をお願い致しました。結果、自治会長様をはじめ回覧等でご覧になられた地域の方もお客様としてご来場頂き、一層の賑いを得る事が出来たと感じています。

### ③ 今後の課題

今回のイベント開催にあたり、出演者・出店者についてはそれぞれの繋がりにより募集もしやすく、比較的手間もかからずに選定・決定作業が進みましたが、実施にあたっての告知が非常に困難で、どこにどう連絡を入れれば？と言う状況の中開催日を迎えてしまい、ネットやチラシ、ひがし蔵ライン会員と出店・出演者の縁者の皆様への告知が主流となり、十分な告知が出来なかったと感じております。特に、備前地区においての告知方法が分からず、最終的に「ともりんく」におすがりをしたところではあります。今後は出来ればAKB事業の本部で各地域の民間紙や新聞告知への連絡先などを取りまとめて頂き、事業を実施する団体に紹介を頂ければ幸いです。

また、今回の事業実施に伴い、ひがし蔵としては今までにない規模のフリーマーケット開催となりましたので、急遽上郡町役場第三庁舎駐車場をお借りし、臨時駐車場としてご来場者皆様にご案内をさせて頂く事になりましたが、駐車場より会場へのルートで交通量の多い場所で道路を横断する事になるため横断歩道及び臨時駐車場へ2名の警備保障をお願いする事にしました。こういった事は来場者数を予想した上で想定をしないといけない事ではありましたが、過去のフリーマーケットの経験で判断が急になってしまったと反省をしています。

イベントを開催する際には安全面への配慮が一番であり、今後は今回の反省を基に取り組んでまいりたいと思います。

イベント等事業収支決算書

収 入		支 出	
(内容)	(金額)	(内容)	(金額)
出店者参加費用 (5月、11月2回分計)	33,000円	会場使用料(西藏跡・旧 銀行跡敷地等使用料) ※5月、11月2回分	*20,000円
団体自主費用	70,970円	宣伝広告費 ※チラシ印刷(2回)	*5,420円
支援金	100,000円	音響機材借入 ※屋内5月、11月2回 ※屋外11月1回	*40,000円 *5,000円
		事務費 インク代	*15,089円
		コピー代	*1,870円
		用紙代	*882円
		封筒	*110円
		警備保障費用各日2名 ※神姫警備保障姫路 5月、11月2回	*83,600円
		出演者謝礼 5月6団体 11月7団体	26,000円
		警備用無線機(備品) ※スタッフ配置用	5,999円
合 計	203,970円	合 計	203,970円

1. 領収書等の写し、又は収入及び支出を明確に確認できる書類を添付してください。
2. 支援対象経費には\*を記載のこと

団体名	吉永町グラウンド・ゴルフ連盟	活動名	赤穂市・上郡町・備前市3地区交流グラウンド・ゴルフ交歓大会
-----	----------------	-----	-------------------------------

## 1 事業の実施内容

① 実施場所 (地域) 備前市吉永町吉永中B & G海洋センター グラウンド	② 実施期間 自 令和4年9月14日 至 令和4年9月14日
③ 実施体制 ・団体構成員 23名 ・一般参加者 241名 ・ボランティア 名 ・ 名 ・ 名 計 264名	
④ 事業実績 (実行委員会や準備作業の事業実施等の主な実施日、内容をご記入ください。) 令和4年3月8日に赤穂市・上郡町・備前市の連盟会長と第6回大会について電話、面談による協議を行いました。 開催日、開催場所、参加人数等の了解が得られたので、それぞれの会長に同年3月15日に文書による案内をした。 同年7月15日に、開催要項、大会申込書をそれぞれの会長に送付し、募集をした。 参加目標を、赤穂市が130人、上郡町を60人、備前市を160人とした。 同年9月14日に、当初予定していた参加人数をコロナ禍も相まって前年より下回り、264人の参加の基、8ホール×3ゲーム24ホールストロークプレーを実施した。 表彰については、1位～15位及び15位賞を授与した。その他に抽選でラッキー賞60個、及び参加賞を全員に授与した。 ホールインワン賞も授与しましたが、100円のホールインワン基金を頂き、基金の合計額、10,900円を岡山県グラウンド・ゴルフ協会に送金した。 大会終了時間は、14時00分でした。 来賓は、備前市市長様、地元の岡山県議会議員様の2人にお越しいただき、ご挨拶がありました。 添付資料は、プログラム・成績表・イベント等実施報告書を添付しますのでご参照下さい。	

## 2 事業実施の成果と今後の課題

### ① 事業実施の成果

大会要項に掲げている趣旨の通り、生涯スポーツの普及が十分に図られた。そして、大会の所期目的は十分達成することが出来ました。大会を通じて技術向上も図られ、3地区の参加者相互の親睦と交流が充分図られ、大きな成果があった大会となりました。

第1回大会254名、2回大会313名、第3回大会363名、第4回大会358名、第5回大会348名、第6回大会はコロナ禍で264名の参加者となりました。このイベントも、定着したものと思われました。今回はコロナ禍で参加人数の減少を懸念しておりましたが、さらに実施時期にコロナ感染者が増加して、前年比100人減となりましたが予定通り開催でき安堵しました。一方、マンネリ化も懸念しておりましたが、初参加者も見られ、成功裏に大会を終えることが出来ました。

### ② 今後の課題

備前市グラウンド・ゴルフ主催・吉永GG連盟主管にて、第1回、2回、3回、5回大会6回大会とも、吉永町で開催するに至りましたが、これは、主管受け入れ調整とか、グラウンド状態、広さ、駐車場、大会経験を勘案したものであります。いずれにしても大会運営面で大変さがあり、持ち回り開催を提唱しても、受け手がなく、止む無く吉永会場で開催となりました。次回については、本大会終了後に各会長が集まり、協議した結果、大会の継続が重要であり、再度、持ち回り開催を推し進めて参りたいとし、各会に持ち帰り検討することとした。

検討結果を受けて、来年度の開催募集時期が来たら、再度、各協会が集まり協議して決定する事とした。

(添付書類)

イベント等事業収支決算書

収 入		支 出	
(内容)	(金額)	(内容)	(金額)
参加料(700円×264名)内弁当代500円	184,800円	*参加賞・ラッキー賞・ホールインワン賞	115,400円
自己資金	10,900円	順位賞他	
行政からの助成金	98,000円	*1位～3位までのトロフィー代	14,000円
		昼食弁当代	132,000円
		*1日傷害保険料	5,016円
		ホールインワン基金	10,900円
		*コピー用紙代	268円
		*郵送料	984円
		*コピー代	2,500円
		事務費	4,000円
		*大会備品代	5,450円
		連盟会計へ	3,182円
合 計	293,700円	合 計	293,700円

1. 領収書等の写し、又は収入及び支出を明確に確認できる書類を添付してください。
2. 支援対象経費には\*を記載のこと

団体名	音楽療法研究会“ほっとたいむ”	活動名	ほっとたいむミュージックセラピーコンサート
-----	-----------------	-----	-----------------------

## 1 事業の実施内容

① 実施場所（地域）	② 実施期間		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・備前市民センター（備前市）</li> <li>・上郡生涯学習支援センター（上郡町）</li> <li>・赤穂市民会館（赤穂市）</li> <li>・伊里公民館（備前市）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年10月18日</li> <li>・令和4年11月15日</li> <li>・令和4年11月20日</li> <li>・令和4年7月28日、8月25日</li> </ul>		
③ 実施体制			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体構成員 8 名</li> <li>・一般参加者 170 名</li> <li>・賛助出演者 29 名</li> </ul> <p style="text-align: right;">計 207 名</p>			
④ 事業実績（実行委員会や準備作業の事業実施等の主な実施日、内容をご記入ください。）			
《第8回ほっとたいむミュージックセラピーコンサート》			
●令和4年2月打ち合わせ			
1日時・場所			
	In 赤穂	In 備前	In 上郡
日程	2022年11月20日（日）	2022年10月18日（火）	2022年11月15日（火）
時間	Am10:00～11:30	Am10:00～11:30	Pm1:30～3:00
場所	赤穂市民会館 大会議室	備前市民センター 講話室	上郡生涯学習支援センター 中ホール（仮予約済）
賛助出演者	さくら 代表：牟礼美保 中田安正（0791-48-8869）	すぎなコーラス 代表：播本ひろ子	KMG(Kids&mamaMusicGroup) 代表：佐古真優子
8/2に公民館申し込み      7/20 9:00			
備前市民センターへ tel 仮予約			
2 出演者：ほっとたいむ研究会員（網家、稲家、鹿島、中川、西本、深水、梅延、斎藤）			
外部講師：江原、			
3 参加予定数：in 赤穂：（100名）人、in 備前：（30）人、in 上郡：（30）人			
参加名簿作成：稲家			
4 参加料：なし			
5 費用：プログラム代、印刷代、チラシ・ポスター印刷代、ステージ演出費 その他			
●令和4年7月 チラシ（3か所を1枚に）作成、ネット印刷依頼			

●案内状、プログラム作成（8月から11月）：稲家

●各地区担当者との打ち合わせ

会場確認、賛助出演者との打ち合わせ、プログラム、チラシ配布、各役場広報課広報お願い等

	In 赤穂	In 備前	In 上郡
日時	随時	6月7日(火)14:00～	8月30日(火)15:00～
場所	中央公民館 赤穂市役所広報課	備前市民センター 備前市役所広報課 伊里公民館	上郡社協ロビー 生涯学習センター 上郡役場企画広報課

《伊里公民館 ほっとたいむミュージックセラピー お試し講座》

●実施日 令和4年7月28日(木) 8月25日(木) 10:00～11:30

●場所 伊里公民館

●参加申し込み者 10名

●実施内容 「声を出して誤嚥予防・歌とリズムで脳トレ・思い出歌って認知症予防」を目的に介護予防のプログラムを実施

参加者へのアンケート実施

セラピスト：稲家里美

## 2 事業実施の成果と今後の課題

(※アンケート用紙の添付とアンケート実施結果も記入してください。)

### ① 事業実施の成果

今年も昨年に引き続き感染対策をしたうえで《第8回ほっとたいむミュージックセラピーコンサート》を3か所で開催させていただいた。今年は日程を決めていく上で、地域のイベントが3年ぶりに復活していく中で、特にin赤穂の日程が取りにくかった。10月11月12月の土日は祭や文化祭といったイベントが多いため、日程決めと集客に課題を残した。プログラムではお客様が参加しながら楽しめるメニューを工夫したことで、例年以上にお客様に楽しんでいただくことができ、多くの参加者さんから「楽しかった!」との声をいただいた。

<アンケートより参加者の声> (アンケート結果別紙参考資料添付)

○皆で歌え楽しかったし、伴奏もいろいろな楽器で楽しめました。(in 備前)

○アットホームな感じで思いっきり楽しめた。(in 備前)

○とても癒されて心豊かなひとときを過ごすことが出来ました。(in 備前)

○歌って身体を動かしたので日頃のストレスが取れました。(in 上郡)

○単なる手拍子でないのが脳トレになると思いました。(in 上郡)

○自分の幼い時のこと、現在を思いました。(in 上郡)

○ゲストのピアノ、歌もよかったです。とても!!(in 赤穂)

○ただ聞いただけかと思ってたが参加型で汗をかくほどでギャグあり、おもしろく良い時をありがとうございました。(in 赤穂)

○声を出して気持ちがスッキリ楽しかったです。これからも長く続けてください (in 赤穂)

○あたたかいコンサートでほっこりした気持ちになれました。(in 赤穂)

今年ミュージックセラピーの定着を目標に備前市伊里公民館で介護予防を目的としたミュージックセラピーのおためしセッションを2回させていただき、1回目に9名、2回目に8名の方が参加して下さった。参加して下さった方々にアンケートを取らせていただき、全員一致で令和5年度から、月1回のほっとたいむミュージックセラピーを伊里公民館の認定団体として講座を開かせていただくことになった。

(アンケート結果別紙参考資料添付)

## ② 今後の課題

ウイズコロナが高まる中、地域のイベントも復活するようになり、少しずつ活気づいてきたように感じられる昨今、10月11月12月の土日の日程を抑えることの困難さを感じた。またこの時期の集客は、いろんな公的な行事と重なり広報の難しさを感じた。参加していただいた皆さんには今年も満足して楽しんでいただけたことで、私たちもとても楽しく達成感のあるコンサートを開催することができ、また来年もがんばろう！と勇気をいただいた。

また、備前市の伊里公民館でほっとたいむミュージックセラピーおためしセッションを2回させていただき、令和5年度認定団体としてセッションを月1回させていただくことになった。これを機にミュージックセラピーの定着につながっていくことを願っている。

今後もまだまだ続くコロナ禍ではあるが、コロナ禍であるからこそ『人と人とのつながり、ふれあい』を大切に“ほっとたいむ”の活動を続けていきたいと思う。

### 《課題》

- 実施日程と集客方法
- 感染対策と広報活動
- 音楽療法の定着

(添付書類)

イベント等事業収支決算書

収 入		支 出	
(内容)	(金額)	(内容)	(金額)
協議会より	¥100,000	会場費	
		*備前市民センター	¥3,000
		*上郡生涯学習支援センター	¥6,000
		*伊里公民館	¥3,720 (1,860*2)
		7/28、8/25	
ほっとたいむ会計より	¥7,627	印刷費	
		*チラシ作成代	¥7,500
		(パソコンサービス	
		まるとも)	
		*チラシ印刷代	¥7,157
		(ラスク株式会社)	
		*インク代	¥34,977
		消耗品費	
		*ミュージックベル他	¥22,806
		*ステージ小道具	¥2,400
		*コピー用紙他	¥4,127
		*郵送費	¥940
		報償費	
		*講師料	¥15,000
		(5,000*3会場)	
合 計	¥107,627	合 計	¥107,627

1. 領収書等の写し、又は収入及び支出を明確に確認できる書類を添付してください。
2. 支援対象経費には\*を記載のこと

(添付書類)

## イベント事業実績報告書

団体名	赤穂軟式野球協会	活動名	第11回東備西播定住自立圏推進交流中学校野球大会
-----	----------	-----	--------------------------

### 1 事業の実施内容

① 実施場所（地域） 赤穂トラストホープ球場 東中学校グラウンド 上郡スポーツセンター球場 坂越中学校グラウンド	② 実施期間 自 令和 4年 5月 3日 至 令和 4年 5月 4日	
③ 実施体制		
・ 団体構成員 295 名	・ 一般参加者 320 名	・ ボランティア 20 名
・ 名	・ 名	計 635 名
④ 事業実績（実行委員会や準備作業の事業実施等の主な実施日、内容をご記入して下さい。）		
2月10日	役員会(理事会)	令和3年度事業中止決定
2月26日	役員会(理事会)	令和4年度事業参加打合せ
3月10日	役員会(理事会)	令和4年度事業参加決定
4月23日	(市役所)	審査選考会参加
4月29日	役員会(理事会)	大会開催の打合せ
5月2日		大会準備
5月3日		大会開催
5月4日		大会開催
5月15日	役員会(理事会)	反省会

## 2 事業実施の成果と今後の課題

### ①事業実施の成果

第11回定住自立圏中学校野球は、令和3年の事業として2月に開催予定でしたが各参加中学校にて、コロナウイルス感染防止の為中止すべきの申しでが<sup>↓</sup>ありました。それでも学校関係者から中止でなく令和4年度事業として延期して開催に強い要望がありました。（理由として現中学校3年部員達は、コロナで2年間思う様な練習や大会開催がされていない）令和4年度4月頃からコロナ感<sup>↓</sup>染減少状況になりつつ開催の運びとなりました。今大会は記念大会として12チームから17チーム参加開催となりました。

### ②今後の課題

- 少子化で野球人口減少、単独チーム編成が出れない。
- 各学校野球指導する教員不足
- 各地区学校関係者から大会を継続要望があり今後の検討課題と致します。

(添付書類)

イベント等事業収支決算書

収 入		支 出	
(内容)	(金額)	(内容)	(金額)
イベント等推進支援金	98,000 円	報償費	144,000 円
参加料	160,000 円	審判経費	
広告料	65,000 円	(16 試合×4 人)	
各協会負担金	33,218 円	(2,000 円/人)	
		交通費	
		(2,000 円×8 人)	
		アナウンス謝礼	*10,000 円
		使用料	*12,700 円
		球場設備使用料	
		放送設備使用料	
		通信費	21,308 円
		印刷費	*57,800 円
		プログラム作成	
		食糧費	30,523 円
		(審判員昼食代)	6,893 円
		会議費	15,200 円
		雑費	57,794 円
		(クーラーボックス)	(2,728 円)
		(賞品代)	(*55,066 円)
合 計	356,218 円	合 計	356,218 円

1. 領収書等の写し、又は収入及び支出を明確に確認できる書類を添付してください。
2. 支援対象経費には\*を記載のこと

団体名	AKB フォトウェディング プロジェクト実行委員会	活動名	AKB (赤穂・上郡・備前) 縁結び婚活事業
-----	------------------------------	-----	---------------------------

## 1 事業の実施内容

①実施場所 (地域) 赤穂市、上郡町、備前市	② 実施期間 自 令和4年5月 1日 至 令和5年3月31日
③ 実施体制 ・団体構成員 7名 ・一般参加者 80名 ・ボランティア 3名 ・外部スタッフ 3名 計 93名	
④ 事業実績 (実行委員会や準備作業の事業実施等の主な実施日、内容をご記入ください。)	
令和4年	
8月上旬 LINE 公式アカウント運用開始	
8月中旬 参加者の募集 (3地区の広報誌や地元紙等に掲載、SNSにて発信)	
8月21日 縁結び婚活事業 (会場 赤穂市 桃井ミュージアム)	
8月下旬 参加者の募集 (3地区の広報誌や地元紙等に掲載、SNSにて発信)	
9月25日 縁結び婚活事業 (会場 上郡町 ギャラリーひがし蔵)	
9月下旬 参加者の募集 (3地区の広報誌や地元紙等に掲載、SNSにて発信)	
10月22日 縁結び婚活事業 (会場 備前市 THE COVE CAFE)	
11月上旬 参加者の募集 (3地区の広報誌や地元紙等に掲載、SNSにて発信)	
12月10日 縁結び婚活事業 (会場 赤穂市 桃井ミュージアム)	
令和5年	
2月初旬 参加者の募集 (3地区の広報誌や地元紙等に掲載、SNSにて発信)	
3月12日 縁結び婚活事業 (会場 上郡町 ギャラリーひがし蔵)	
2月中旬 参加者の募集 (3地区の広報誌や地元紙等に掲載、SNSにて発信)	
3月25日 縁結び婚活事業 (会場 備前市 レマーニ))	
※婚活事業の際、フォトウェディングのPRコーナーを設けました。	
※実行委員会は、随時行いました。	
※各団体との連携は随時取りました。	

## 2 事業実施の成果と今後の課題

(※アンケート用紙の添付とアンケート実施結果も記入してください。)

### ① 事業実施の成果

コロナ禍で結婚の機会や人との出会いの場が減少している昨今、この3地区で6回の婚活事業を行いました。

<募集>できるだけ多くの方に情報を届ける工夫をしました。

- ・ポスターを作成し、毎回3地区の役所、役場に掲示しました。
- ・3地区の広報誌にご協力いただき、毎回募集の記事を掲載していただきました。
- ・3地区の地元紙にも、毎回募集の記事を掲載していただきました。
- ・上郡町のケーブルテレビでも静止画による募集の告知を流しました。
- ・西播磨県民局県民交流室県民活動支援課とも連携を取り、広く情報発信をしていただきました。
- ・若い方に見ていただけるようにSNS等を活用した発信をしました。

<参加者>

- ・色んな年代の人が参加できるよう、工夫をしました。
- ・毎回、3地区からの参加のバランスをみて参加者を決定しました。
- ・3地区以外からも応募があり、今後この地域に住む意思のある方を選びました。

<婚活事業>

- ・コロナ禍ではありましたが、感染予防を行い6回とも実施できました。
- ・それぞれの会場や季節に合った内容で行うことができました。
- ・それぞれの会場でカップルが誕生し、多くの出会いに繋がりました。

4. 8. 21 赤穂 桃井ミュージアム 男性8名 女性8名 → カップル成立3組

4. 9. 25 上郡 ギャラリーひがし蔵 男性6名 女性5名 → カップル成立2組

4. 10. 22 備前 THE COVE CAFE 男性9名 女性10名 → カップル成立1組

4. 12. 24 赤穂 桃井ミュージアム 男性6名 女性6名 → カップル成立1組

5. 3. 12 上郡 ギャラリーひがし蔵 男性4名 女性3名 → カップル成立2組

5. 3. 25 備前 THE COVE CAFE 男性10名 女性5名 → カップル成立3組

<2市1町の効果>

- ・3地区で実施し、参加者を3地区から募集をすることにより交流が生まれました。
- ・地区を超えてカップルが誕生したので、3地区の活性化に繋がりました。
- ・情報発信や広報活動、事業実施まで、3地区で連携できました。
- ・参加した方にそれぞれの地域のパンフレットを配布し、3地区の魅力発信も行いました。
- ・アトラクションにご当地クイズを入れ、少しでもその地域のことを発信しました。
- ・カップルになったお二人(備前と佐用)から早速結婚し、上郡に居住したと連絡があり、若者の移住定住、人口増加に繋がりました。

### ② 今後の課題

- ・多くの方が結婚を望み、出会いを求めています。今後も婚活や結婚事業を継続して行うことで、この地域の定住促進・人口増加に繋がっていきたいと思います。
- ・一度の婚活でカップル成立までいく方は少ないので、継続して参加してもらえる機会をつくる必要があると思いました。
- ・SNSやインターネットを利用した継続的な情報発信ができるしくみを構築したので、有効的に活用していきたい。
- ・行政も絡んだ婚活事業で、実際に会って交流できるという、安心して参加していただける婚活事業として継続していきたいと思います。
- ・近年、晩婚化や独身主義の傾向がみられます。引き続き、結婚の良さもアピールできるようフォトウェディングのPRも行っていきたいと思います。

イベント等事業収支決算書

収 入		支 出	
(内容)	(金額)	(内容)	(金額)
民間イベント等 事業推進支援金	100,000	・広告宣伝費 LINE 公式アカウント 案内 1,000枚 A4 告知データ作成5回 ケーブルテレビ用データ5回	*46,750
参加費		LINE 公式アカウント 構築費用	*38,500
8/21 赤穂	56,000	・会場費	
9/25 上郡	38,500	8/21 桃井ミュージアム (会場費、トックトック、飲食代含む)	23,560
10/22 備前	47,500	9/25 ひがし蔵	5,000
12/24 赤穂	36,000	10/22 COVECAFF (飲食費含む人)	52,000
3/12 上郡	20,000	10/24 桃井ミュージアム	6,000
3/21 備前	500	3/12 ひがし蔵	2,000
3/25 備前	35,000	3/21 ひなせうみラボ	5,000
自己資金	2,158	3/25 レマーニ	6,600
		・委託料	
		印刷物 (番号札、席札、メッセージカード)	*4,400
		スタッフ 8/21	8,000
		そばうち材料費	15,000
		そばうち講師	*10,000
		雲火焼キーホルダー作り	12,000
		スタッフ2名 10/22	12,000
		鑑定料 3/12	13,000
		音響機材	24,000
		席札加工	500
		・飲食費	
		ケーキ代 12/24	7,500
		ケーキセット 3/12	4,350
		ケーキセット 3/25	14,823
		・運営費	
		コピー代	2,160
		インク代	*1,958
		8/21 分	
		水、紙コップ、あめ	1,624
		クリップ、ベル	330
		カップ	220
		ファイル	440
		封筒	220

		9/25 分	
		菓子 (景品)	6 4 0
		菓子 (ひがし蔵へお礼)	1, 2 8 0
		菓子 (そば打ち道具お礼)	3, 6 6 0
		菓子、水	1, 1 6 7
		除菌シート	2 4 0
		ペーパーナプキン、シート	2 2 0
		10/22 分	
		菓子 (駐車場お礼)	1, 0 0 0
		水他	1, 4 1 2
		12/24 分	
		水他	9 4 6
		3/12 分	
		交通費 (ミュージシャン)	1, 0 0 0
		水	3 6 4
		3/25 分	
		景品	1, 4 0 5
		景品	1, 4 5 4
		景品	1, 6 6 0
		景品	6 9 1
		水、あめ	5 8 4
合 計	3 3 5, 6 5 8	合 計	3 3 5, 6 5 8

1. 領収書等の写し、又は収入及び支出を明確に確認できる書類を添付してください。
2. 支援対象経費には\*を記載のこと

団体名	赤穂市ターゲットバードゴルフ協会	活動名	二市一町交流ターゲットバードゴルフ大会												
1 事業の実施内容															
① 実施場所（地域） 赤穂市千種川河川敷ターゲットバードゴルフ場		② 実施期間 自 令和 4年 11月 3日 至 令和 4年 11月 3日													
③ 実地体制 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">・団体構成員</td> <td style="text-align: center;">25 名</td> <td style="text-align: center;">・一般参加者</td> <td style="text-align: center;">15 名</td> <td style="text-align: center;">・ボランティア</td> <td style="text-align: center;">5 名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">・</td> <td style="text-align: center;">名</td> <td style="text-align: center;">名</td> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">45 名</td> <td></td> </tr> </table>				・団体構成員	25 名	・一般参加者	15 名	・ボランティア	5 名	・	名	名	計	45 名	
・団体構成員	25 名	・一般参加者	15 名	・ボランティア	5 名										
・	名	名	計	45 名											
④ 事業実績（実行委員会や準備作業の事業実施等の主な実施日、内容をご記入ください。）															
令和 4年 3月 6日(日)	理事会で二市一町TBG大会の実施について協議														
4 月 17日(日)	令和4年度会員総会にて大会の実施を承認決定 赤穂市企画政策課に事業申請書を提出														
4 月 25 日(月)	事業推進支援金 92,000円の決定通知														
9 月 6 日(月)	二市一町交流大会の募集要項の印刷及び配布														
10 月 30 日(日)	開催準備と、コース整備														
11 月 2 日(水)	交流大会の前日準備														
11 月 3 日(木)	交流大会の実施														

## 2 事業実施の成果と今後の課題

(\*アンケート用紙の添付とアンケート実施結果も記入してください。)

### ① 事業実施の成果

今年もコロナの関係で、スポーツイベント等もなく主にPRする場がなかった  
さらに今回は上郡町からの参加者(6名)もコロナの関係で欠席となり  
少しさみしい大会となったが少しずつ成果が上がっている。

### ② 今後の課題

2023年はコロナも少しずつ落ちついて、スポーツイベント等も復活してくると  
思うのでこれらに参加をしてPR活動と、普及に努めたいと思います。  
さらに大会参加者を介してより多くの参加を呼びかけたいです。

(添付書類)

イベント等事業収支決算書

収 入		支 出	
(内 容)	(金 額)	(内 容)	(金 額)
定住自立圏支援交付金	83,000円	*審判員謝礼 10名×3,000円	*30,000円
大会参加料 31名×500円	15,500円	*審判員昼食代(10名分)	*14,580円
自己資金	653円	*消耗品代 (シャツ代) (コース整備用軽油代)	*29,967円 (26,570円) (3,397円)
		*保険料	*1,000円
		*賞品代	*23,416円
		*通信費	*190円
合 計	99,153円	合 計	99,153円

1. 領収書等の写し、又は収入及び支出を明確に確認できる書類を添付してください。
2. 支援対象経費には\*を記載のこと

団体名	地域歴史文化遺産魅力向上フェスティバル	活動名	秦氏魅力向上フェスティバル開催
-----	---------------------	-----	-----------------

## 1 事業の実施内容

① 実施場所（地域） 赤穂市立図書館	② 実施期間 自 令和 4年 6月 3日 至 令和 4年 6月 12日
③ 実施体制 ・団体構成員 96名 ・一般参加者 761名 ・ボランティア 12名 ・ 名 ・ 名 計 869名	
④ 事業実績（実行委員会や準備作業の事業実施等の主な実施日、内容をご記入ください） 1, 実行委員会 ①実施内容検討協議 4/17, 4/30, 5/14, ②反省会 6/22, 2, 資料等借用先事前協議打合せ 5/10, 5/13, 5/19, 3, ポスター、チラシ配布、掲示依頼 5/17, 5/18, 5/19, 5/27, 5/28, 4, 秦氏魅力向上フェスティバル ① 資料等借入 5/30, 5/31, 6/1, ②資料等搬入 展示 6/1, 6/2, ③秦氏魅力向上フェスティバル開催 6/3～6/12 場所 赤穂市立図書館 延べ761人 主催 実行委員会 共催 赤穂市立図書館、秦氏を学ぶ会 後援 赤穂新聞社、赤穂民報社 その他 見学、鑑賞、聴講、参加いずれも無料 (1)千種川流域等にある秦氏ゆかりの史跡写真展（大避神社など）6/3～6/12 ギャラリー (2)秦氏ゆかりの名品展）6/3～6/12 ギャラリー (3)船岡美和子作品展～秦河勝と佛たち～ 6/3～6/12 ギャラリー (4)舞楽、能楽の祖「河勝」 DVD 鑑賞「蘭稜王」「羽衣」など 6/3～6/12 ギャラリー (5)「秦氏を学ぶ会」活動記録 6/3～6/12 ギャラリー (6)秦氏及び渡来人関係図書刊行物展示、閲覧 6/3～6/12 ギャラリー (7)圏域(2市1町)観光及び生涯学習施設パンフの据置、無料配布 6/3～6/12 ギャラリー (1)～(7) 延べ 571人 (8)記念講演会 6/4 視聴覚室 88人 (ア)「大避神社と秦氏」 生浪島 堯 氏（坂越大避神社宮司） (イ)「考古学からみた赤穂群域の秦氏」 中濱 久喜 氏（相生市立歴史民俗資料館） (9)公開研究発表会 6/5 視聴覚室 60人 (ア)「梅原猛が新作能『河勝』と『世阿弥』に托した秦河勝」 西田 美恵子 氏（秦氏を学ぶ会会長） (イ)「秦河勝の実像とその民 稲田 恵一 氏（秦氏を学ぶ会副会長） (10)ギャラリー朗読会 6/12 視聴覚室 42人 7話 「はたのかわかつ」「生島の樹」「熊見川」「木津の大避神社の由来」「市市」 「三本卒塔婆」「風姿花伝」 5, 片付け、資料等搬出 6/12, 6, 等搬出、返却 5/10, 6/13, 6/14 7. 研究発表会（公開） 一般参加の要望を受けて、今年度は「公開とする。 (1) 第2回 10/1 視聴覚室 24人 「加茂社と松尾大社をつなぐ秦氏、古代丹波猿楽」西田 美恵子 氏 「上郡町大枝と大枝新の神社から見たオオサケへの一考察」平井 裕希 氏 (2) 第3回 3/25 視聴覚室 18人 「赤穂木津大工について」 野村 勝美 氏 「甲骨文字「辟」と古代大和朝廷の弾正台」 西田 美恵子 氏	

## 2 事業実施の成果と今後の課題

(※アンケート用紙の添付とアンケート実施結果も記入してください。)

### 1 事業実施の成果

地域歴史文化遺産魅力向上実行委員会を結成して間もなく、「秦氏魅力向上フェスティバル」の開催に向けて、3回の実行員会において、その事業内容を検討協議し、開催した。

開催は、6月3日から12日まで9日間で延べ761人の参加を得た。事業は、多彩多様にわたる盛大なものとなった。図書館利用者を見込んで多くの来館者を期待したが、約1割程度の参加しかなかった。アンケートは、参加者から約7%回答を得た。しかしながら、参加者の皆と言って良いほど、殆どの方が大満足された。秦氏、秦河勝など興味のある人さえ、大いに新しい知識、情報を得て感謝された。一方、知らない人からも、郷土である圏域に全国に誇れる大避神社はじめ秦氏ゆかりの社寺、史跡が多く存在することを知って、感激、感動されたことは、実行委員会でも嬉しい限りである。

参加者は、それぞれのコーナーで長時間立ち止まり、数多くの質問などを受けた。参加者の見学意識は様々で、船岡美和子作品展、秦ゆかり名品展（坂越大避神社秘宝、有年考古館蔵の考古遺物、相生市歴史民俗資料館蔵の茶釜など）、史跡写真展、DVD鑑賞と、興味意識が違って、ひとコーナーに30～40分滞在する人がかなりおり、スタッフ関係者も驚かされた次第である。

また、参加者から思いがけない情報も多く得ることができた。その一例の成果は先日の神戸新聞に掲載された酒づくりに至る。「秦氏を学ぶ会」に5人の入会者もあった。

総じて、圏域内に点在する秦氏ゆかりの歴史文化遺産を、その価値と魅力を深め、広めることができた。また、秦氏関係の地域歴史遺産の啓発普及に大いに寄与することもできた。これら秦氏ゆかりの歴史資産は、貴重な文化資源であり、地域財産として末永く継承していかなくてはならないと再認識した。

### ② 今後の課題

「秦氏魅力向上フェスティバル開催」を実施する準備期間があまりなかったにもかかわらず、多くの領域にわたり多彩に盛大に実施できた。

多くの参加者からは、「百聞は一見にしかず」と言われるように、秦氏ゆかりの社寺、史跡の探訪会の開催を要望された。圏域内は広く、しかも多くの秦氏ゆかりの歴史文化遺産があるので、数回にわたり、実施してほしいと強く願望された。5月8日以降は、コロナ禍も第5類に移行する中、次年度は「秦氏ゆかりの史跡探訪会」を実施したいと期待する。

史跡探訪会は、名の知れたところだけでなく、あまりなじみのない場所でも実施したいと考えている。秦氏関係だけでなく、蘇我ゆかりの地も史跡探訪地に加えて、歴史文化遺産（文化資源、地域財産）の地域文化の掘り起こしにも繋げていきたいと考えている。

郷土（圏域）の歴史文化遺産に誇りと愛着を持たせ、郷土愛や望郷心を育み、その保存と継承に沿いたいと願っている。

また、史跡探訪地は、未開拓の資料不足は否定できないので、十分な調査研究を行い、資料収集の作成、新たな情報を発信していきたい。

記念講演会、公開研究発表会も大好評であったため、せめて研究発表会の一般公開を望まれたので、今年度に限り一般公開とした。

最後に、今回の「秦氏魅力向上フェスティバルの開催」は、赤穂市立図書館という好立地な場所にもかかわらず、期待したほど参加者が多くなかった。今後は十分な情報発信を的確に敏速な広報につとめるとともに、入口先に大きな案内板を設け、静かな呼び込みも必要かなと考える。しかしながら、開催して間がないため、新たな事業内容の調査、研究も要するものである。

(添付書類)

## イベント等事業収支決算書

収 入		支 出	
(内容)	(金額)	(内容)	(金額)
補助金	86,000	*保険料	*7,000 NO1
自己資金	410	小計	7,000
		*事業物品	
		ダブルクリップ	*1,481 NO2
		写真用紙、印画紙	*3,960 //
		〃	*990 //
		小計	6,431
		インクカートリッジ	*19,870 NO3
		プリント用紙	*13,923 //
		小計	33,793
		ボードパンク	*479 NO4
		ガラスクリーナー外	*591 //
		A4 コピー用紙	*1,584 //
		タブレット 外	*1,939 //
		PP ロープ	*658 //
		バケツ 外	*2,939 //
		バスタオル 外	*770 //
		小計	8,960
		ハサミ 外	*550 NO5
		養生テープ 外	*1,238 //
		フラットファイル外	*880 //
		マウス 外	*8,015 //
		インク	*5,671 //
		小計	16,354
		マウスパット 外	*330 NO6
		のり	*110 //
		アルコール除菌	*440 //
		USB 外	*3,840 //
		ラミネーター	*7,040 //
		小計	11,760
		筆ペン	*528 NO7
		ノート手帳	*1,584 //
		小計	2,112
合 計	86,410	合 計	86,410

1. 領収書等の写し、又は収入及び支出を明確に確認できる書類を添付してください。
2. 支援対象経費には\*を記載のこと